

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：健康増進対策費

事業名 医科歯科連携推進事業費補助金 (地域医療介護総合確保基金)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 在宅医療福祉係

電話番号：058-272-1111 (内3283)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 900 千円 (前年度予算額： 1,800 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,800	0	0	0	0	0	1,800	0	0
要求額	900	0	0	0	0	0	900	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

・入院中の口腔機能管理は、口腔合併症の改善・予防の他にも、誤嚥性肺炎の発症予防や在院日数の減少にも繋がるといわれており、口腔の健康が全身の健康につながるものとして医科歯科連携の重要性が指摘されている。このため、地域の歯科医療関係職種が、地域中核病院においてNST(栄養サポートチーム)や周術期(手術前・後)等のチーム参画、会議等に参加し、病院スタッフに対し、口腔管理に係る助言や保健指導を行い、入院患者の口腔機能管理の向上並びに病院に歯科の重要性を理解してもらうことが必要である。

・岐阜県における誤嚥性肺炎による死亡率は、44.1%(H30人口動態統計調査・全国4位)と高く、継続的な口腔管理をする必要がある。病院スタッフでの管理には限界があり、歯科医療従事者の支援は必須である。

(2) 事業内容

地域の中核病院との連携を実施。

・連携内容は以下のように様々な機能・目的があり、地域の実情や病院の機能に応じて異なる

・連携内容の例：病院内チーム(周術期、摂食嚥下、糖尿病ケア、認知症ケア、緩和ケア、呼吸ケア等)への参画・サポート、患者への保健指導、病院スタッフ教育 等

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・医療介護総合確保推進法に基づく県計画において、負担率10/10の事業として計上。

(4) 類似事業の有無

- ・無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	900	450千円×2地域歯科医師会に対する助成
合計	900	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第4期岐阜県歯・口腔の健康づくり計画
「口腔と全身の関係について普及するとともに、基礎疾患を有する人の歯科口腔保健対策を推進するため、医科・歯科等の連携を推進します」
「口腔管理の観点から医科歯科連携により5疾病への対応を推進します」
「入退院における医科歯科連携、歯科・介護連携の強化を図ります」

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

地域中核病院において歯科医師や歯科衛生士がチーム（NST、周術期）や会議等に参加する病院数の増加を図るため、地域中核病院と地域歯科医師会との連携体制の構築を推進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R11)	達成率
周術期口腔機能 管理料を算定す る医療機関数の 増加	50	36	36以上	36以上	60	60.0%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	地域中核病院への参画地域歯科医師会数：4地域 病診連携に向けた合同講演会を開催したほか、病院内のNSTチーム等に参画し、医科・歯科連携における口腔管理の重要性を病院スタッフに啓発することができ、病診連携体制の構築に繋がった。
	指標(連携地域数) 目標：60 実績：4 達成率： 6.6 %
令和5年度	地域中核病院への参画地域歯科医師会数：3地域 病診連携に向けた合同講演会を開催したほか、病院内のNSTチーム等に参画し、医科・歯科連携における口腔管理の重要性を病院スタッフに啓発することができ、病診連携体制の構築に繋がった。
	指標(連携地域数) 目標：60 実績：36 達成率： 60 %
令和6年度	地域中核病院への参画地域歯科医師会数：3地域 病診連携に向けた合同講演会を開催したほか、病院内のNSTチーム等に参画し、医科・歯科連携における口腔管理の重要性を病院スタッフに啓発することができ、病診連携体制の構築に繋がった。
	指標(連携地域数) 目標：52 実績：36 達成率： 69.2 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	地域中核病院に歯科の重要性を推進することは、在院日数の削減や健康寿命の延伸にも大きく繋がることから、事業の必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 1	新型コロナウイルス感染症の影響により、本事業の内容を実施することが困難であったため、期待通りの成果を得る事が出来なかった。但し、継続的に事業を実施することにより地域の中核病院のチームや会議等に参加し、歯科の重要性を普及啓発することにより、医科と歯科との連携を構築することができる。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	医療の現場で医科と歯科の専門的な視点を合わせ、質の高い医療を提供することは、患者への生活の質の向上に繋がる。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 口腔機能管理の必要性を実証し、周術期における口腔合併症や誤嚥性肺炎等の予防が図れるよう連携体制を構築していく必要がある。
--

(次年度の方向性)

継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 口腔機能管理の必要性を実証し、周術期における口腔合併症や誤嚥性肺炎等の予防が図れるよう連携体制を構築していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	